

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 担当教員 |
|------|------|---------|-----|-------|
| 専門分野 | 看護研究 | 1単位30時間 | 3年生 | 吉田かおる |

授業のねらい

看護研究における科学的プロセスを理解し、自己の看護実践によってもたらされた患者の反応を客観的・倫理的にとらえ、患者の反応の持つ意味などについて文献検討を通して考える。これら一連の過程を通して研究の意義や方法を理解し、問題解決における基礎的能力と研究的態度を養うとともに、自己の看護観を深める。

授業計画

| | |
|------|-------------------------------|
| 第1回 | 看護研究とは |
| 第2回 | 研究の進め方1 テーマの決定 文献検索 |
| 第3回 | 研究の進め方2 研究計画書の概要 文献レビュー 倫理的配慮 |
| 第4回 | ケーススタディの進め方 テーマを選ぶ |
| 第5回 | 研究計画の立案 計画書作成 |
| 第6回 | 論文の書き方 |
| 第7回 | 研究計画書指導 |
| 第8回 | 論文指導1 |
| 第9回 | 論文指導2 |
| 第10回 | 口頭発表方法 講評について |
| 第11回 | 論文指導3 |
| 第12回 | 看護研究発表 |
| 第13回 | 看護研究発表 |
| 第14回 | 看護研究発表 |
| 第15回 | 看護研究発表 |

授業方法 講義

教科書 参考書:看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 : 照林社

評価方法 レポート評価2割 ケーススタディ評価6割 提出状況・授業参加2割

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 講師名 |
|------|------|---------|------|------------------------------|
| 専門分野 | 看護管理 | 1単位30時間 | 3年後期 | 深川市立病院 看護師 非常勤講師 麻生 雅美 |

授業のねらい

保健医療チームの一員としての役割を理解し、連携・協働できる基礎的知識を学ぶ

1. 組織とマネジメントについての理解を深め、職業人として求められる能力と役割を学ぶ
2. 災害医療・災害看護について管理的な仕組みおよびシステムに応じた行動がとれる基礎的な知識を学ぶ

授業計画

| | | | | |
|------|-----|--------------------|------------|-------|
| 第1回 | | 看護とマネジメント | | 看護師 |
| 第2回 | | 看護ケアとマネジメント | | 看護師 |
| 第3回 | | 看護サービスとマネジメント | | 看護師 |
| 第4回 | | マネジメントに必要な知識と技術 | | 看護師 |
| 第5回 | | チーム医療の概念と意義 | GW | 麻生 |
| 第6回 | | チーム医療における看護師の役割と責任 | GW | 麻生 |
| 第7回 | | 多職種との連携・協働とは | GW | 麻生 |
| 第8回 | | 各専門職が担う役割と機能 | 発表 | 麻生 |
| 第9回 | | 文化の違いと看護 国際協力のしくみ | | 非常勤講師 |
| 第10回 | | 災害看護の基礎知識 | | 麻生 |
| 第11回 | 1時間 | 災害看護の基礎知識 | 机上シミュレーション | 麻生 |
| 第12回 | | 災害現場でのトリアージ | 机上シミュレーション | 麻生 |
| 第13回 | | 災害現場でのトリアージ | 演習 | 麻生 |
| 第13回 | | 災害現場のシミュレーション | 演習 | 麻生 |
| 第14回 | | 災害現場のシミュレーション | 演習 | 麻生 |
| 第15回 | 1時間 | 筆記試験 | | 麻生 |

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 看護管理 : 医学書院
系統看護学講座 専門分野 看護学概論 : 医学書院

評価方法 筆記試験

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 講師名 |
|------|------|---------|------|---------------------|
| 専門分野 | 医療安全 | 1単位30時間 | 2年後期 | 深川市立病院 看護師 刺田 由貴 |

授業のねらい

医療事故を様々な観点から予防・予測・分析できる能力を身に付け、倫理観に基づいて安全を保証した看護を提供する看護実践能力を養う。

授業計画

| | | | | |
|------|-----|----------------------------|----|-----|
| 第1回 | | 医療安全を学ぶ大切さ | | 刺田 |
| 第2回 | | 医療事故の分類 | | 刺田 |
| 第3回 | | 医療事故安全対策 | | 刺田 |
| 第4回 | | 療養上の事故防止(転倒) | | 刺田 |
| 第5回 | | 療養上の事故防止(誤嚥・経管栄養) | | 刺田 |
| 第6回 | | 事故防止(ドレーン管理) | | 刺田 |
| 第7回 | | 胸腔ドレナージ管理中の事故と事例検討 | | 刺田 |
| 第8回 | | 事故防止(注射指示受け・注射準備・実施) | 演習 | 刺田 |
| 第9回 | | 事故防止(注射指示受け・注射準備・実施) | 演習 | 刺田 |
| 第10回 | | 医療安全とコミュニケーション | | 刺田 |
| 第11回 | | 事故防止(輸液ポンプ、シリンジポンプ、インスリン注) | 演習 | 刺田 |
| 第12回 | | 事故防止(輸血、内服薬) | | 刺田 |
| 第13回 | 1時間 | 新人特有の危険な行動パターン | | 刺田 |
| 第14回 | | 医療安全管理の実際① | | 看護師 |
| 第15回 | | 医療安全管理の実際② | | 看護師 |
| 第16回 | 1時間 | 筆記試験 | | 刺田 |

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 医療安全 : 医学書院

評価方法 筆記試験

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 講師名 |
|------|----------|---------|----|-------|
| 専門分野 | 統合看護技術演習 | 1単位30時間 | 3年 | 麻生 雅美 |

授業のねらい

1. すでに修得した知識、技術が、看護実践場面でどう活用されているのかを学び、実践できる能力を養う
2. 1年後に看護師になること意識し、患者の身体状況を判断し、自分の考えた看護を正確に行える技能を学ぶ。
3. 複数患者を持つ状況や多重課題起こった時に、患者の安全・安楽を考えた優先順位を自ら判断し行動できる能力を養う
4. 救命対応の考え方、急変時における初期対応の流れ、トリアージについて理解する

授業計画

| | | | | |
|------|---|---------------------------|--------------------|----|
| 第1回 | 2 | オリエンテーション | 患者の状態を観察する看護師の思考準備 | |
| 第2回 | 2 | 1日の行動計画と患者のもとに行くまでの準備 | | |
| 第3回 | 2 | 複数患者の行動計画立案・優先順位を踏まえた計画 | | |
| 第4回 | 2 | 患者の状態観察と今後の援助を考える | | 演習 |
| 第5回 | 2 | 複数患者の状態観察と報告・多重課題の対応検討 | | 演習 |
| 第6回 | 2 | 多重課題対処の能力の身に付け方、ワークシートの見方 | | 演習 |
| 第7回 | 2 | 診療の技術(注射別ワークシートの見方、注射の準備) | | 演習 |
| 第8回 | 2 | 注射実施時における多重課題と対処法 | | 演習 |
| 第9回 | 2 | 輸液ポンプ・シリンジポンプの扱い方 | | 演習 |
| 第10回 | 2 | 点滴・採血実施時の多重課題の対応検討 | | 演習 |
| 第11回 | 2 | 救命救急処置の基礎知識 | | |
| 第12回 | 2 | 救急看護の実際 事例を用いた急変時の対応 | | 演習 |
| 第13回 | 1 | 救急看護の実際 事例を用いた急変時の対応 | | 演習 |
| 第14回 | 1 | トリアージ方法・タグ記載 | | 演習 |
| 第15回 | 2 | チーム医療における優先順位 | | |
| 第16回 | 2 | 患者のフィジカルアセスメントから判断する援助 | | 演習 |

授業方法 講義 ・ 演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ : 医学書院

評価方法 課題、演習後のレポート、最終レポート、筆記試験を総合的に評価する